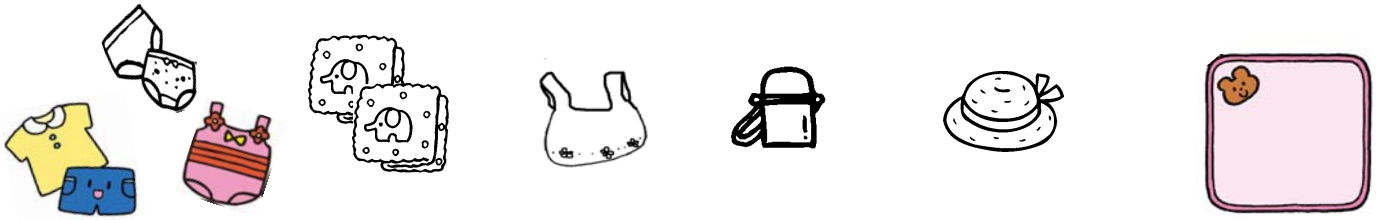
水とあそぼう！

令和７年度　　やまびこ・武並・中野方・みさと子育て支援センター

いよいよ水あそびのシーズン！天気の良い日は、下記の日程で水あそびをします。水あそびができないお友達も遊戯室で過ごせます。皆さん遊びに来て下さいね。水あそびのおねがいや病気の紹介（裏面参照）などを読んで参加して下さい。天候・気温・水温・利用者の状態により、水あそびをお休みする事もあります。

水あそびの持ち物



着替え　　タオル２枚（足拭き用・体拭き用）　　ビニール袋　　お茶　　ぬれてもいい帽子　　レジャーシート（着替える時に使用）

＊持ち物には必ず名前を書きましょう。　　＊お家の方も濡れてもいい服装で来てね。

おねがい

☆衛生上・怪我防止のため、はだかでの水遊びはご遠慮ください。

☆こんな時は水遊びを控えましょう

・発熱や下痢など、風邪症状がある。
・皮膚にトラブルがある。（とびひなど）
・結膜炎・中耳炎などの病気がある。

＊水あそびの用意をする時に、お子さんの皮膚の状態など、体全体を診てあげてください。
＊お家の方が必ず見守って遊んでください。

水あそびの時間

１０：１０～	体操、着替え
１０：２０～１０：５０	水あそび
１０：５０	片付け、着替え

支援センター　水あそびの日

武並	7/22、8/5、19
中野方	7/28、8/4、25
やまびこ	7/16、8/20、27
みさと	7/25、8/29

＊みさと支援センターはタライで
ちょこっと水あそびの予定です。

夏の３大感染症＆皮膚トラブル

① 咽頭結膜熱（プール熱）

38～40℃の発熱、のどの痛み、食欲不振、結膜の充血、目やにが増える。下痢になることもある。
注意点→ 治った後も便にウイルスが 30 日間程度排出されるので、手洗い、排泄物の扱いに注意しましょう。
＊こども園では感染すると、登園停止です。

② 手足口病

主に手、足、口の中、お尻に水疱ができる。軽い発熱（２～３日）。
注意点→大人が感染すると、子どもより症状が重くなりやすい。一度かかっても、また感染する事もある。回復後２～4 週間は，便とともにウイルスが排出されるので、手洗い、排泄物の扱いに注意しましょう。

③ ヘルパンギーナ

39℃を超える高い熱、喉の痛み、喉にぶつぶつができる。まれに無菌性髄膜炎を併発することがある。
注意点→ しばらくは鼻水や便にウイルスが排出されるので、手洗い、排泄物の扱いに注意しましょう。

④ とびひ（伝染性膿痂疹）

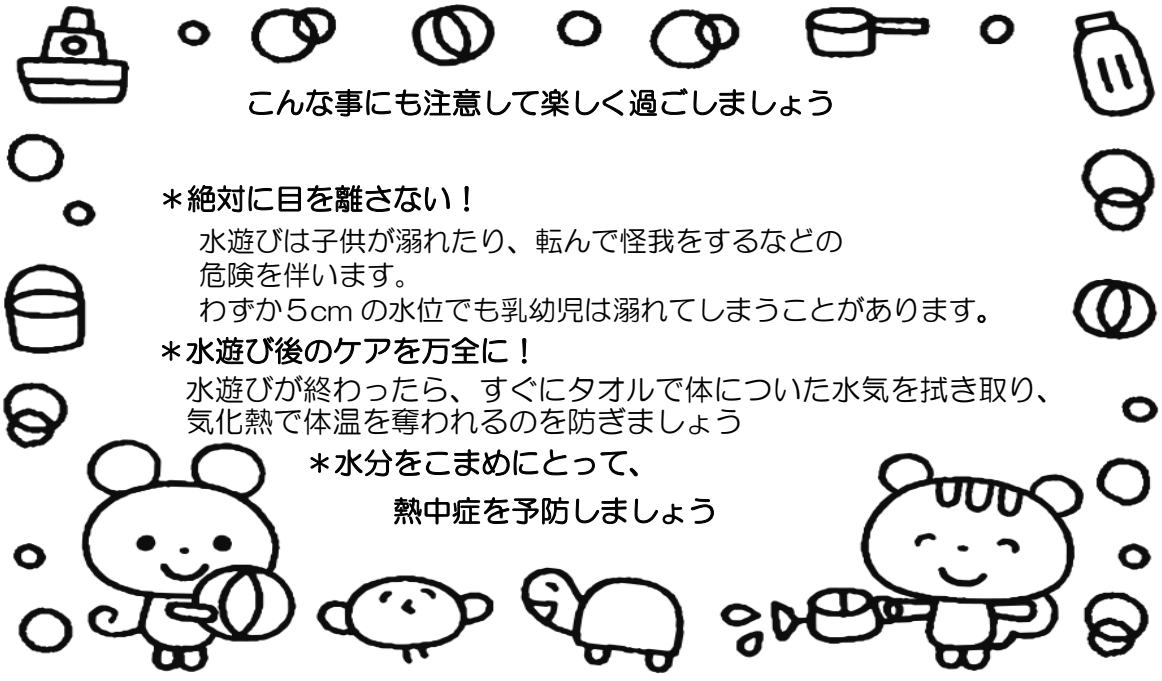
虫刺されやひっかき傷のあとに細菌が付いて、水ぶくれができる。水ぶくれが黄色く変色して破れ、中の菌が別の場所に移って全身に広がっていくのが特徴。水ぶくれは破れたあと、かさぶたになる。
注意点→ うつりやすい病気なので、プールには入れません。体力が落ちている時にかかりやすいです。

⑤ 流行性結膜炎

まぶたがはれ、裏まぶたに小さなブツブツができる。充血・目やに・涙目や発熱も見られる。
重症化すると角膜炎を起こすこともある。
注意点→ 伝染性が強く、症状も重くなります。治療をしても１週間くらいは症状が 続き、潜伏期間が１～２週間と長く、感染してもわかりにくい為,最も注意が必要な病気といえるでしょう。
＊②～⑤は、こども園では、医師の診断によって登園できる感染症です
（感染のおそれがないと認めるまで休み）

⑥ 水いぼ（伝染性軟属腫）

ウィルスによって腕や足、体に米粒程度の大きさのイボができ、体のあちらこちらに広がっていく。
発熱やかゆみ等はない。
＊プール遊びへの参加については、かかりつけの医師にご相談ください。



こんな事にも注意して楽しく過ごしましょう

＊絶対に目を離さない！

水遊びは子供が溺れたり、転んで怪我をするなどの危険を伴います。
わずか5cm の水位でも乳幼児は溺れてしまうことがあります。

＊水遊び後のケアを万全に！

水遊びが終わったら、すぐにタオルで体についた水気を拭き取り、気化熱で体温を奪われるのを防ぎましょう

＊水分をこまめにとって、

熱中症を予防しましょう